

こんにちは！

はるのクリーンサービスの木戸です。

ホームセンターやドラッグストア、テレビのコマーシャルなどで様々な洗剤が宣伝されています。数がありすぎて「どの洗剤を使ったらいいの・・・？」と悩まれる方も多いのではないのでしょうか。そこで、今回は「洗剤の種類」についてのお話です。

#### ★洗剤の種類

「洗剤」と一般に呼んでいる場合、合成洗剤を指している事が多いようです。しかし、それ以外にも漂白剤、洗剤、研磨剤、溶剤など多くの洗剤があります。今回ははじめに洗剤の「液性」について考えていきましょう。

#### ★液性とは

おうちにある洗剤を、どれでもかまいませんので手元において見て下さい。市販の洗剤には、家庭用品品質表示法に基づいたラベルが貼ってあります。「液性」という欄に中性とか、弱アルカリ性とかが明記されていませんか？ペーハー（PH）値の酸性からアルカリ性までの範囲を1～14の度合いで5段階に分類し、その度合いを表示しているのです。学校の理科で習った事を思い出された方も多いと思います。酸性、弱酸性、中性、弱アルカリ性、アルカリ性がその5段階の名称です。この酸性やアルカリ性といった液性が汚れを落とす時に深く関わっているものなのです。では各々がどのような汚れに適しているのでしょうか。

#### <酸性（PH1～3）>

トイレ用の洗剤などに多く使用されています。成分は塩酸と界面活性剤です。人体からの脂肪、し尿やタンパク質などの有機物を分解する働きがあります。頑固な黄ばみ、水道水に含まれて付着したカルシウム分を落とす効果があります。

#### <弱酸性（PH3～6）>

お風呂用洗剤などに多く使用されています。成分は界面活性剤です。湯垢や脂分、石鹸カス等を落とす効果があります。洗剤以外に人の皮膚に直接使用する化粧石鹸やハンドクリームなども弱酸性のものが最適とされています。

#### <中性（PH6～8）>

台所用洗剤やお風呂用洗剤などに幅広く使用されています。

成分は界面活性剤です。

食器や料理器具の洗浄に適しています。

<弱アルカリ性(PH8~11)>

一般の住い用洗剤などに使用されています。

成分は界面活性剤やアルカリ剤です。

床や壁、家具についた汚れや手垢などをおとします。

<アルカリ性(PH11~14)>

住居用の協力洗剤などに使用されています。

成分は界面活性剤やアルカリ剤や溶剤です。

汚れのきつくなる水周り箇所(台所、トイレ、排水口)の汚れ落としに使用されています。

漂白剤もアルカリ度合いの強い洗剤です。

まとめ

こんなふうに、液性を知っておけば汚れに対しても洗剤の使い分けが出来て

おそうじが楽になりますね~♪

では、また!